

平沼騏一郎 ひらぬま けいちろう 政治家、法學博士。慶應二年九月二十八日美作國
生れ。昭初二十七年八月二十一日歿（公七十一九三二）。明治二十一年帝
國大學法科大學卒。司法省入省。四十四年司法次官、爾後檢事總長、
大審院長を経て、大正十一年法相、翌年虎ノ門事件に辭任。次ぐ貴族
院議員、樞密顧問官、昭初十一年樞密院議長、十四年若柳歴任。男爵
受爵。この間皇室中心主義の結社國本社を主宰、機關誌『國本』を發
刊し、天皇機關説の批判の先鋒となる。修養團理事。戰後勳犯容疑
ご終身禁錮刑と、假出所中死去。法學者平沼淑郎の弟。

著書に『義公生誕二百年記念講演集』（合著、昭初六年二月十日茨城
・義公生誕二百年記念會）、『祭祀と專業』（昭初十二年四月二十九
日修養團）、『日本精神發揚講演集』（荒木貞夫・徳富猪一郎合著・
瀬尾芳夫編、昭初十四年二月十一日國民精神總動員中央聯盟）等。ま
た、唐島基督二著『平沼騏一郎と末次信正』（昭初十二年四月二十四
日中央の道題社「情教と解説」）、相良政雄衍義『祭祀と專業衍義』（
昭初十四年六月一日興文社「東洋文化叢書」）、『平沼騏一郎先生
逸話集』（昭初二十三年八月二十一日岡山・平沼騏一郎先生逸話集刊
行會）等がある。

